

学校給食検討会（第2回）

会議報告

日時	令和5年12月19日（火） 15:00～16:30
場所	沼南庁舎 5階 501会議室
出席者	別添のとおり
議事	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校給食費について (2) 「柏市学校給食将来構想」について (3) 「柏市学校における食育方針」について (4) その他
要旨	<p>(1) 学校給食費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年以降の物価の上昇や消費税率の引き上げに伴う影響を踏まえると、柏市が求める学校給食の質を維持するためには69円～76円の値上げが必要であることを説明し、妥当であると判断された。 ・また、牛乳代は給食費に占める割合が大きいため、今後は牛乳代（61円）を除く食材費分を固定し、牛乳代は毎年度千葉県県給食会が提示する額を徴収することを提案し、理解が得られた。 ・今後の進め方として、令和6年1月に校長会臨時役員会を開催し、給食費の改定案を提示する。役員会の了承が得られれば、同月に開催予定の教育政策審議会及び教育委員会定例会で報告し、そこでの意見を踏まえ給食費の改定を最終決定する。保護者への周知は2月上旬から中旬頃に行う。 ・令和6年4月から給食費を値上げすること、改定額は原案のとおりとすること、激変緩和措置を講じること等が検討会における審議を踏まえた意見として提出された。 <p>(2) 「柏市学校給食将来構想」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏市学校給食将来構想改訂版（案）に対する意見はなかった。 <p>(3) 「柏市学校における食育方針」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏市学校における食育方針（案）に対する意見はなかった。
内容	<p><主な意見・質疑（要約）></p> <p>(1) 学校給食費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改定額（案）の妥当性を確認するため学校栄養士を対象にアンケートを実施し

た。その結果、小学校は6割が「妥当」と回答した。中学校は「妥当」と「多すぎる」と回答した割合がそれぞれ4割だった。また、値上げ後の物価上昇を懸念する声が多くあった。（柏市学校栄養士会）

- ・金額の良し悪しは食数の規模によっても変わってくる。次の値上げがいつ頃になるのか、見通しを示してはどうか。（柏市学校栄養士会）

- ・給食費の管理が煩雑になるため、給食費を1円単位にすることは避けたい。（柏市学校栄養士会）

→給食費の端数は、今後の牛乳代の徴収方法によっては1円単位になることは避けられない。ただし、給食費を公会計化すれば学校現場の手間は減らせると思う。（学校給食課）

- ・牛乳代と食材費は分けた方が良いか。（学校給食課）

→判断が難しい。今年度は牛乳代が6円上がっている。今後は牛乳代が引き上げられるタイミングに合わせて給食費を見直してはどうか。（柏市学校栄養士会）

→次の値上げの時期は未定である。前回の改定から14年経過したことは反省している。今後は定期的に調査を行い、給食費を見直していきたい。（学校給食課）

- ・現在の給食センターの献立内容を考慮すると、給食費の額を自校方式と同額にするのではなく、同じ値上げ率で改定することが妥当であると考え。（給食センター栄養士）

- ・提供方式の違いによる金額差については、児童生徒や保護者は提供方式を選択できないため、平等性の観点から同額にすることが望ましいのではないか。（柏市PTA連絡協議会代表）

→センター方式と自校方式の給食費を同額にすることは可能であるが、自校方式よりも大量調理となるセンター方式は大量一括仕入れにより費用が抑えられている。また、センター方式の中学校の献立は自校方式と比べて1品少ないため、給食費も安くなっている。（学校給食課）

→センター方式の給食費を自校方式と同額に引き上げた場合は、給食の質がこれまで以上に良くなったものと期待すると思う。（柏市小中学校校長会）

→改定案は給食の質の維持に最低限必要な額に思える。妥当である。また、牛乳代は分けて提示した方が牛乳代の上昇による影響がわかりやすく、値上げ時に説明がしやすい。（柏市小中学校校長会）

- ・牛乳の提供をやめて他の食材（例えば豆乳など）で代用することはできないのか。（柏市PTA連絡協議会代表）

→柏市では、カルシウム等の栄養素を確保する観点から牛乳の提供を基本としている。また、学校給食法施行規則では、完全給食の定義として「ミルク」の記載があり、牛乳の提供が基本となっている。現段階で牛乳をやめる判断は難しい。（学校給食課）

→保護者は同じ疑問を持つと思うのでリーフレット等でお知らせしてはどうか。（柏市PTA連絡協議会代表）

- ・値上げに伴う保護者負担を考慮し、段階的に補助が無くなるような制度で値上げを進めてはどうか。（柏市PTA連絡協議会代表）

- ・アレルギーのある子どもも牛乳代は徴収されているのか。（柏市PTA連絡協議会代表）

→免除されている。（学校給食課）

- ・保護者の立場で考えると、食材選びの切実さを示されると値上げの必要性を理解しやすくなる。給食費の見直しも、保険のように毎年実施すれば、当たり前になるのではないか。（柏市PTA連絡協議会代表）

→以前は「給食運営委員会」を設置・開催して定期的に学校給食に関して協議していた。また、他市でも定期的に運営状況などを報告する場を設けている例もある。今後は、柏市でも毎年本検討会のような会議を開催し、情報共有を図っていききたい。（学校給食課）

- ・給食費の算定に当たって、物流や人材不足になると言われている2024年問題は考慮しているか。（柏市PTA連絡協議会代表）

→考慮していない。（学校給食課）

- ・インボイス制度の影響を受けて、今後は食材購入に係る振込手数料が請求されると聞く。納品業者への振込手数料は給食費で負担（保護者負担）するのか。（柏市学校栄養士会）

→公会計化によってその問題は解消する。令和6年度の対応は別途協議する。（学校給食課）

- ・本日の意見を集約し、市教育委員会に「意見書」を提出する。（学校給食課）

- ・意見書の内容に問題はないか。（学校給食課）

※同日の検討テーマである「柏市学校給食将来構想の見直し」と「柏市学校における食育方針」に対する意見聴取後に、意見書案を提示した。

→「保護者等への丁寧な説明を行うこと」を追加してほしい。（柏市小中学校校長会）

→「公益財団法人千葉県学校給食会」が正しい表現である。（柏市学校栄養士会）

- ・給食費の端数の取り扱い（「切り上げ」「切り捨て」「5円単位」など）は、事務局で判断させていただきたい。（学校給食課）

(2) 「柏市学校給食将来構想」の見直しについて

- ・特になし

(3) 「柏市学校における食育方針」について

- ・季節を感じられる旬のものや、縁起が良いと言われる初物を少しでも取り入れてほしい。近年は、スーパーで売られている魚の切り身がそのまま海を泳いでいると思っている子どもがいると聞く。旬の食材や行事食など、給食を活用した食育の取り組みを期待する。（柏市PTA連絡協議会代表）

→安全安心な給食の提供に加え、食育を行っていくためにも、適正な給食費の確保は重要である。（学校給食課）

- ・栄養教諭を増やし、食育授業等が充実されることを期待する。学年ごとに学ぶべきことを整理した全体目標や年間計画を教育委員会として掲げることで、食育の目標値が明確になるのではないか。（柏市小中学校校長会）

→学校では栄養教諭等が中心となって食育計画を立てている。栄養教諭・栄養士が参考にできるようなものを提示したい。（学校給食課）

- ・本校では、食育推進校になったことで栄養教諭はじめ教職員の意識が高まり、横断型の授業に取り組むことができた。取組内容が可視化されており、栄養教諭だけでなく若い教職員等にとってもわかりやすい資料であると感じる。（柏市小中学校校長会）

→指導課と連携しながら、食育を進めていきたい。（学校給食課）